

## 総務担当例会 総務部副部長 赤坂潤

私達総務部では、11月14日に国際ホテルにて「紳士の為のテーブルマナー」と題し例会を開催しました。

この例会は、若き経営者たるもの食事の時もマナーを守ってこそ一人前という考えのもと開催いたしました。その中でも特に、過日世界無形文化遺産に登録されました和食をメインテーマにし、講師に国際ホテルの勝 尚洋氏をお招きして教鞭をとって頂きました。

お箸の基本的な使い方から始まり、懐石料理と会席料理の違い、居酒屋等でお馴染みの茶碗蒸しや天婦羅の食べ方など幅広く学ぶことができました。また抽選ではありますが、実際に料理を実食して頂き、知識だけではなく目で見て学ぶことも出来ました。料理も美味しかったと好評でした。

初めて知る内容でとても勉強になったのですが、講師が言われたこの一言がとても印象に残っております。「和食には色々マナーがあり、それを守ることも大切なのですが、一番大切なのは料理を楽しむこと、そして同席された方々に対する気配り・心配りです。」とても素晴らしい言葉と思いました。

色々な場所で食事をする経営者としてはもちろん、食育をする親としても充実した時間になったと思います。

## 担当例会、常盤ファンタジア出展を振り返って 企画部部長 原 洋司

今年度、四十周年記念事業の一端を任せられ、様々な想いを抱えてこの二つの事業に望みました。それは前回、三十五周年の記念事業で起こった内輪もめの同じ轍を踏まない事、もう一つは会員一丸になれること。

実際この一年が始まって、過去の先輩方がどれだけ苦勞をされていたかが身に染みて理解できました。企画を一から組み立てる、会員全員に何をどういう想いでどういう風に行くかを理解させる、そして参加したくなるように促す。言葉で表すのは簡単ですが、いかに難しかったをこの一年で学びました。

五月の担当例会では周年事業に対するスモールグループディスカッションを行い、会員の周年に対する感情、気持ち、不安を抽出することから始めました。これにより会員の抱えている不安や要望を簡潔にとりまとめる事が出来ました。これは司会をして頂いた末永さんの力添えが大変大きかったです。部員の皆さんも各テーブルのリーダー役として会員さんを引っ張ってくれたおかげで盛況に終える事が出来ました。

そこで抽出された意見を元に常盤ファンタジア、イルミネーション出展に望み、大変素晴らしいイルミネーションを作成することができました。

頼りない部長で部員さん、会員さんに大変苦勞をかけましたが、皆さまの力添えのおかげで常盤ファンタジアでは大変名誉あるデザイン賞を受賞する事が出来ました。忙しいのに率先して手伝ってくれた方々への感謝は言葉に表せません。私にとって人生観が変わるほどの大事業となりました。最後にこの事業を担当させて頂いた茂山会長、福永実行委員長、ありがとうございました

## 平成25年教育部の活動を振り返って 教育部 石丸直樹

25年度の教育部は、藤本部長・原田副部長のもと担当例会6回と一泊研修を行いました。

7月の一泊研修「火力発電所の見学」に始まり、8月「護身術」9月「事業承継対策」10月「暴排対策」1月「書道教室」2月「ライフネット生命・出口会長のご講演」3月「アスベスト対策」と様々なジャンルでの例会開催となりました。どれも学び多き例会となりましたが、特に印象に残ったのが 書家の日枝先生を講師に迎えての『書道教室』でした。祝儀袋や芳名帳など筆ペンで字を書く機会は多々あります。しかしながら、それを苦手にしてている人も多いようです。私自身も字を書くのが大大大の苦手（汗）そんな中、書体を適度に崩し、読みやすく且つ美しく見える書き方のコツをいくつも教えて頂き、大変勉強になりました。会員の皆さんが真剣に練習している姿を見て、やはりワークを組み込んだ例会の方が参加する側も楽しみながら学べるものになると改めて確信しました。

## 国際交流 木田英二

24年度は見島の鬼ようずの凧作り凧揚げ大会を行い留学生は楽しんで頂き、25年度も私が担当になりかなりプレッシャーになりました。部会で何度かもんで蕎麦打ち&ソフトバレーボール大会に決定をして、留学生との食事会の時に参加の呼びかけを行った時に学生たちは興味を示してくれたので、この事業なら大丈夫と思い自信がつかしました。

11月17日にアクトビレッジ小野で講師に古谷 孝之氏をお招きしての蕎麦打ち体験でした。当日は天気が悪く当日のキャンセルが10名ほど出て17名の参加者でした。1時間半ほど蕎麦打ち体験して頂き自分たちで打った蕎麦を茹でてお昼ご飯に美味しく食べていました。

午後からは体育館に移動してソフトバレーボールを行い会員と一緒に汗をかき楽しんで頂き参加された留学生の皆様は日本での思い出が出来たと思われました。

## 四月定時総会・懇親会について 総務部部長 磯村訓

平成二十五年度総務部部長を何とか勤めることが出来たのは、茂山会長、ならびに会員皆様のお力添え、また暖かく見まもって頂いたお陰だと感謝しています。本当にありがとうございました。

さて、四月定時総会・懇親会を振り返ってみると、新体制で臨む最初の事業ということで失敗の許されない事業です。

今までは、文化部で会員家族同士の親睦を深める事業など、企画部ではお祭りに参加して焼きそばを販売したり、会員同士が楽しみながら行える事業だったので失敗しても笑って許してもらえそうな事業だったように思います。

しかし、定時総会・懇親会となるとやはり対外的なもので、来賓者の皆様、OB会の先輩方をお招きしますので、失敗はあってはならない事業です。しかしアトラクションではゲームの説明が足らず今一盛り上がりせず、罰ゲーム的なところでは笑いを取れるはずが確認不足で失笑……。自分たちでは盛り上がる自信はあったのですが、『お・も・て・な・し』をする事の難しさ、厳しさをしみじみ感じさせられた事業でした。

総務部主体の事業でしたが、会員皆さんが来賓者の接待や懇親会を盛り上げる為に協力して頂いたことに大変感謝しています。さすが若き経営者の会！

そして猪熊事務局長をはじめ総務部の皆さん、出来損ないの自分を一年間支えて頂射た事に大変感謝しています。ありがとうございました。

今年度は部長として大した事は出来ませんでした。次年度では若き経営者の会に、また会員皆さんに倍返しとは行きませんが、少しでもお返し出来るように努力していきたいと思っております。